

不登校を経験した人たちのための高校です

入学試験は面接だけ
その人の人柄を見て判断してくれます

私たちは
橘学院高等部

入学についてご相談したい方はご連絡ください
電話:047-324-2889

〒272-0021 市川市八幡 3-3-2 J 403
グランドターミナルタワー本八幡
JR本八幡駅・京成八幡駅・都営本八幡駅
徒歩1分

こんなお困りごとは!!

草取り 植木の手入れ
屋内外の清掃 事務・パソコン入力等
毛筆の宛名書き などなど

公益社団法人
市川市シルバー人材センター
へご相談ください

市川市平田 1-20-17
☎047-326-7000

難解な雨漏りを一発解決
雨漏り検査!

特殊検査液で漏水原因をピンポイント
修繕費の無駄はカット

壁・天井のしみを見つけられます、こー覗下さい!!

tel 03-5875-6633

信頼と実績の
見積り無料 株式会社サーベイ
検査・修繕

〒124-0006 東京都葛飾区堀切 2-60-9

家具修理 & リフォーム

確かな技術で「買いたくない、直して使いたい」にお応えいたします!

家具の無料相談室 お気軽にお問い合わせ下さい

ソファー張替え イス張替え
家具の塗り替え 家具の改造
家具の高さつめ 家具の幅つめ
家具部品取替え 桐タンス再生

家具製造販売・修理・リフォーム **木曜定休**
〒272-0801 市川市大町124-3

赤羽根家具
TEL 047-337-8640

一般会計

歳入(総額) 1,335億5,488万円	歳出(総額) 1,292億6,581万円
市税 800億2,493万円	民生費 556億593万円
国・県支出金 290億2,689万円	衛生費 167億3,095万円
地方消費税交付金など 73億1,350万円	総務費 154億6,566万円
財産収入・寄附金・繰入金・諸収入 49億1,528万円	教育費 132億9,351万円
市債 45億4,050万円	土木費 112億8,013万円
使用料及び手数料 35億8,060万円	公債費 88億8,378万円
その他 41億5,318万円	消防費 52億2,146万円
	その他 27億8,439万円

特別会計

歳入(総額) 880億7,433万円	歳出(総額) 861億4,927万円
国民健康保険 456億7,434万円	国民健康保険 443億932万円
下水道事業 140億9,691万円	下水道事業 139億712万円
地方卸売市場事業 1億8,557万円	地方卸売市場事業 1億3,910万円
介護老人保健施設 11億723万円	介護老人保健施設 10億8,866万円
介護保険 231億1,436万円	介護保険 228億2,023万円
後期高齢者医療 38億9,592万円	後期高齢者医療 38億8,484万円

公営企業会計

歳入(総額) 17億8,004万円	歳出(総額) 20億164万円
病院事業会計収益的収入 16億1,748万円	病院事業会計収益的支出 17億6,185万円
病院事業会計資本的収入 1億6,256万円	病院事業会計資本的支出 2億3,979万円

全会計の市債残高 **984億4,969万円**
平成25年度対比 29億3,487万円減少

財務書類 (連結ベース)

資産・負債を適切に管理し、財務情報を分かりやすく開示するため、発生主義・複式簿記の企業会計的手法による貸借対照表(バランスシート)、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書の財務書類4表を作成しています。ここでは市の全ての会計と、市が50%以上出資している関係団体を一体とみなした連結ベースの貸借対照表の概要をお知らせします。

財務書類4表は市公式Webサイト、市政情報センター、中央図書館、行徳図書館、大野公民館、男女共同参画センターで閲覧できます。

決算収支 (財源・性質別)

一般会計歳入・歳出差引額 **42億8,907万円**

自主財源 市が自主的に収入できるお金 **69.4%**

歳入 1,335億5,488万円

- 市税 926億7,399万円
- 財産収入・寄附金・繰入金・諸収入
- 使用料及び手数料
- その他

歳出 1,292億6,581万円

- 人件費
- 扶助費
- 公債費

依存財源 国・県からの交付や借り入れたお金 **30.6%**

408億8,089万円

- 国・県支出金
- 市債
- 地方消費税交付金など

その他の経費 **58.0%**

447億6,963万円

- 物件費
- 維持補修費
- 補助費等
- 繰出金
- 積立金
- 投資及び出資金・貸付金

96億306万円

- 普通建設事業費
- 災害復旧事業費

義務的経費 支出が義務付けられ、任意に削減できないお金 **7.4%**

健全化判断比率・資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律(財政健全化法)により、地方公共団体は、毎年度、実質的な赤字や、外郭団体を含めた実質的な将来負担などを表す指標(健全化判断比率)と、公営企業ごとの資金不足額を表す指標(資金不足比率)を議会に報告し、公表を行っています。

平成26年度決算に基づく本市の健全化判断比率及び資金不足比率は、いずれも早期健全化基準を下回り、財政状況は前年度に引き続き健全段階であるという結果となっています。

指標名	内容	26年度算定結果	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する割合	-	11.25%	20%
連結実質赤字比率	公営企業会計を含む、すべての会計を連結した実質赤字額の標準財政規模に対する割合	-	16.25%	30%
実質公債費比率(3ヵ年平均)	一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する割合	0.7%	25%	35%
将来負担比率	一般会計等が将来負担すべき実質的な負債額の標準財政規模に対する割合	-	350%	-
資金不足比率	各公営企業における資金不足額の事業規模(事業収入)に対する割合	病院 2% 市場 2%	経営健全化基準 20%	

※算定結果が「-」となっている比率については、「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」、および「資金不足比率」は、各会計における「26年度算定結果」の値が全て黒字であり、算定の基礎となる赤字及び資金の不足額がないこと。また、「将来負担比率」は、将来負担額に充当することが可能な財源等を、将来負担額を上回っていることによるものです。

貸借対照表

基準日(3月31日)時点における財政状態を明らかにするもので、学校や道路、公園など、行政サービスを提供するために保有している「資産」と、資産を取得するために調達した財源(「負債」と「純資産」)の内訳を表しています。資産から負債を除いた純資産は、平成25年度と比べて97億7千9百円増加しました。

(平成27年3月31日現在、単位:百万円)

資産の部(これまでに取得した資産)		負債の部(市民がこれから負担する金額)	
1. 金融資産	47,903	1. 流動負債	16,916
(1) 資金	11,573	(1) 翌年度償還予定市債	9,471
(2) 債権	10,546	(2) その他	7,445
(3) 投資等	25,784	2. 非流動負債	126,348
		(1) 市債	88,979
		(2) 退職給付引当金	30,062
		(3) その他	7,307
2. 非金融資産	1,018,694		
(1) 事業用資産(学校、公民館など)	242,116	負債合計	143,264
(2) インフラ資産(道路、公園など)	776,578	純資産の部(市民がこれまでに負担した金額)	
		1. 純資産	923,333
		純資産合計	923,333
資産合計	1,066,597	負債・純資産合計	1,066,597

一般会計のあらまし 市民1人当たりの歳入と歳出

市の人口 / 47万4,340人 (平成27年3月31日現在・住民基本台帳人口)

歳入 281,559円

- 市税 3.4%
- 財産収入・寄附金・繰入金・諸収入 3.7%
- 地方消費税交付金など 5.5%
- 国・県支出金 21.7%
- 使用料及び手数料 2.7%
- その他 3.1%
- 市税 59.9%

歳出 272,517円

- 民生費 43.0%
- 衛生費 12.9%
- 総務費 12.0%
- 教育費 10.3%
- 土木費 8.7%
- 公債費 6.9%
- 消防費 4.0%
- その他 2.2%

歳入	281,559円	歳出	272,517円
市税	みなさんが納めた税金 168,708円	民生費	高齢者、障害者、児童などの福祉の費用 117,228円
国・県支出金	市の事業に対し、国や県から交付されたお金 61,194円	衛生費	こみ処理、がん検診、予防接種などの費用 35,272円
地方消費税交付金など	消費税の一部として県から交付されたお金など 15,418円	総務費	文化振興、防災対策、情報化推進などの費用 32,605円
財産収入・寄附金・繰入金・諸収入	市有地を売却して得たお金、寄附金、基金(貯金)を取り崩したお金など 10,362円	教育費	小・中学校、幼稚園、生涯学習振興などの費用 28,025円
市債	国や金融機関などから借り入れたお金 9,572円	土木費	道路、河川、公園などの費用 23,781円
使用料及び手数料	施設の使用料や住民票の写しの交付手数料など 7,549円	公債費	国や金融機関などから借り入れたお金の返済費用 18,729円
その他	前年度から繰り越したお金、保育料や施設の入所費用など、特定の利益を受ける方が負担したお金 8,756円	消防費	消防・救急活動の費用 11,008円
		その他	商工業振興などの費用 5,869円

市民1人当たりの市債残高 130,625円
平成25年度対比 7,524円減少

平成26年度の 主な事業と決算額

安心なまちづくり

高齢者の暮らしの安全 **1億6,848万円**

地域ケアシステム活動拠点の整備など地域福祉コミュニティの充実を図るとともに、情報提供の拡充と普及に向けて、スマートフォンなどモバイル機器の操作研修を実施した他、特別養護老人ホームの建設に対する補助を行いました。

健康づくり **26億73万円**

血液検査で調べる胃がんリスク検診などの各種がん検診を実施したほか、予防接種では、ヒブ、小児用肺炎球菌などに加え、高齢者肺炎球菌や水痘(水ぼうそう)の予防接種を新たに実施しました。

子ども・子育て支援 **12億2,273万円**

待機児童対策のために、私立保育園の整備費用の一部を補助したほか、簡易保育園利用者の経済的負担を軽減するため、補助金を交付しました。また、旧稲荷木幼稚園を改修し、障害児の支援や保育クラブなどに利用できる複合施設としたほか、通学路の安全対策としてカラー舗装の実施、子どもの遊び場として青空こども広場を設置しました。

防災対策 **56億5,428万円**

市街地浸水対策として、雨水管や大和田ポンプ場などの整備を推進しました。また、防災行政無線の放送内容を確認できる電話自動応答装置の導入、避難場所や避難所などを市内4地区に分けて詳細に記載した地区別減災マップの作成など、危機管理体制の整備を推進しました。

快適なまちづくり

美しい景観づくり **1億8万円**

夜間景観創出のためのイルミネーション設置や、景観資産の発掘と保全・活用のための「いちかわ景観100選」マップの作成、市民や事業者との協働による公園・緑地・街路樹の整備及び維持管理などを実施しました。

都市基盤の整備 **24億2,339万円**

快適、安全なまちの実現に向けて、公共下水道や都市計画道路3-4-18号の整備を推進しました。また、狭い道路の改善促進のため、セッパック部分を寄付する際に必要な費用を助成しました。

文化・スポーツ振興 **2億6,692万円**

市民会館の平成29年3月開館を目指して、既存建物の取り壊し工事と基本・実施設計等を行いました。また、北東部地区にスポーツ施設を整備するためのスポーツタウン基本構想を策定しました。

教育の振興

教育の振興 **17億9,527万円**

学力・体力の向上のため、校内塾・まなびくらぶの新設やヘルシースクールなどを実施したほか、平成27年4月に塩浜小一貫校を開校しました。また、小・中学校の校舎等耐震補強工事や国分小学校、第四中学校の建て替え工事が完成したほか、生涯学習の充実を図るため、公民館主催講座や図書館のIC化などを推進しました。

建替え工事が完成した国分小学校校舎▶

活力のあるまちづくり

魅力あるまちづくり **1億4,314万円**

国分川調節池の中池広場の駅の整備推進、JR武蔵野線沿線のまちづくりのための調査検討などを実施しました。また、女性向け起業セミナー、若年者等就職面接会の開催などにより、産業振興、雇用促進を図りました。

▶活気ある女性向け起業セミナー

平成26年度 決算報告

平成26年度一般会計特別会計及び公営企業会計の決算が、市議会9月定例会で認定されました。みなさんが納めた税金や国・県からの補助金などごとのように使われたのか、平成26年度決算の歳入・歳出の内容や主要な事業の決算額、財政の健全性に関する指標となる健全化判断比率など、市が保有する資産負債の概要をお知らせします。

図 0334-110 財政課